

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2015（平成27）年度定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2015（平成27）年8月29日（土） 14：00～14：45
2. 場 所：グランフロント大阪（神戸芸術工科大学サテライトオフィス）
（大阪府大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワーA（南館）16階）
3. 社員総数 94名（議決権は、各1個）
出席社員数 68名（うち議決権行使書提出者数18、委任状提出者数26（議長24、繁成剛氏2））
※オブザーバー（協会正会員および学生会員）出席者数 11名
 - ・出席理事 繁成剛（会長（代表理事））、岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、剣持 悟、水澤二郎、宮野秀樹、山形茂生、相良二郎、鈴木聖貴、元田英一、高原光恵、畠中 規、古井 透
 - ・出席監事 井上剛伸
 - ・欠席理事 塚田敦史

 - ・議事録署名人
桂律也（クラーク病院）
麩澤 孝
4. 審議事項
 - 第1号議案 2014年度事業報告（案）
 - 第2号議案 2014年度決算報告（案）／監査報告
 - 第3号議案 2015年度事業計画（案）
 - 第4号議案 2015年度収支予算計画（案）
 - 第5号議案 新役員の承認
5. 社員総会資料
 - ① 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2014年度事業報告（案）
 - ② 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2014年度決算報告（案）
 - ③ 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2014年度監査報告
 - ④ 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015年度事業計画（案）
 - ⑤ 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015年度予算計画（案）
 - ⑥ 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会新役員の承認
6. 議事の経過の概要及び議決の結果

総務統括担当の鈴木理事より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、繁成会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

審議は密接に関係する内容の第1号議案と第2号議案、第3号議案と第4号議案は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

定款 28 条第 1 項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

定款第 29 条第 1 項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

同条第 2 項

「前項の場合における前 2 条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

第 1 号議案 2014 年度事業報告に関する事項

議長より社員総会資料①に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、賛成多数で承認された。

■承認 64 名（出席代議員 20 名（議長除く）、議決権行使書 18 名、委任状 26 名）、非承認 3、棄権 0 名

◆質問・意見なし

第 2 号議案 2014 年度決算報告（案）／監査報告

議長より指名を受け財務担当理事より社員総会資料②に基づきその説明がなされた。

収支計算書総括表にて説明がされ、収入は会費収入が予算比 100 万円程度減である以外、ほぼ予算通りの計上となっている。会費収入予算は全会員から徴収した場合で計上しているが、実際は徴収できていない現状がある。

次いで、社員総会資料③に基づき井上監事より、監査報告として会計監査および業務監査を行い、本会財産は適正に管理運営されており、また総会決議した年間事業は順調に執行されていたことが報告された。なお監査考察及び助言として下記が提示された。

会計監査としては、（1）会計帳票、証票類、証拠書類の取り扱いは適切に実施され、よく整理されていたが、未収金・前払金の振替等の金銭の移動を伴わない処理の混乱（計上漏れ等）が見受けられたことから、その管理をより適切に行っていただきたい。（2）科目の整理や事業毎会計の取扱など、円滑な会計処理推進に向け、さらなる取り組みを進めてほしい。できれば、事務局体制の整備とともに、委員会等を設置し、集中的な検討が必要である。

業務監査としては、（1）各理事の分掌事項に対する業務執行において、業務執行に努めていただいている。ただし、理事分掌事項の引き継ぎマニュアルの作成等、役員改選時にも理事会運営の継続性を担保できるよう、さらなる整備を進めてほしい。（2）2015 年度も赤字予算を編成しなければならない状況であり、事業の推進を図りつつも、コスト感を持った、横断的な課題の検討を経て理事会での協会運営に努めてほしい。（3）会費収入が予算に対して大幅に減となっている。年度途中でも新入会員の確保や継続会員の会費納入状況等の把握につとめ、この点の改善、配慮を積極的に進めてほしい。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 67 名（出席代議員 23 名（議長除く）、議決権行使書 18 名、委任状 26 名）、非承認 0、棄権 0 名

◆質問・意見なし

第 3 号議案 2015 年度事業計画（案）

議長より社員総会資料④に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 67 名（出席代議員 23 名（議長除く）、議決権行使書 18 名、委任状 26 名）、非承認 0、棄権 0 名

◆質問・意見なし

第4号議案 2015年度予算計画(案)

議長より指名を受け、財務担当理事より社員総会資料⑤に基づき説明がなされた。

各担当理事からの予算要求額から調整してかなり切り詰めていったが、約70万円のマイナス予算編成となっている。各事業効率よく支出を抑えた運営をすることをお願いしており、徐々に赤字予算が減っていくような会の運営のために、理事一丸となって、今まで以上の、会費収入増も含めていきたい。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認67名(出席代議員23名(議長除く)、議決権行使書18名、委任状26名)、非承認0、棄権0名

◆質問・意見なし

第5号議案 新役員の承認

議長より社員総会資料⑥のとおり、役員候補者選挙により選出された理事候補者13名、監事候補者2名が提示された。定款第34条「理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。」および定款第28条第3項「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなくてはならない。」により、候補者毎に決議を行い、全理事・監事が満場一致で承認された。この社員総会終了後、新旧理事が交代することとなる。

■理事候補(敬称略)

石濱裕規 承認65名(出席代議員23名、議決権行使書16名、委任状26名)、非承認2名、棄権0名

岩崎満男 承認64名(出席代議員23名、議決権行使書15名、委任状26名)、非承認3名、棄権0名

沖川悦三 承認66名(出席代議員23名、議決権行使書17名、委任状26名)、非承認1名、棄権0名

金井謙介 承認66名(出席代議員23名、議決権行使書17名、委任状26名)、非承認1名、棄権0名

剣持 悟 承認65名(出席代議員23名、議決権行使書16名、委任状26名)、非承認2名、棄権0名

繁成 剛 承認67名(出席代議員23名、議決権行使書18名、委任状26名)、非承認0名、棄権0名

杉本昌子 承認64名(出席代議員23名、議決権行使書15名、委任状26名)、非承認3名、棄権0名

高原光恵 承認65名(出席代議員23名、議決権行使書16名、委任状26名)、非承認2名、棄権0名

中村俊哉 承認65名(出席代議員23名、議決権行使書16名、委任状26名)、非承認2名、棄権0名

畠中 規 承認66名(出席代議員23名、議決権行使書17名、委任状26名)、非承認1名、棄権0名

水澤二郎 承認65名(出席代議員23名、議決権行使書16名、委任状26名)、非承認2名、棄権0名

宮野秀樹 承認66名(出席代議員23名、議決権行使書17名、委任状26名)、非承認1名、棄権0名

山形茂生 承認65名(出席代議員23名、議決権行使書16名、委任状26名)、非承認2名、棄権0名

吉田泰三 承認64名(出席代議員23名、議決権行使書15名、委任状26名)、非承認3名、棄権0名

■監事候補

相川孝訓 承認66名(出席代議員23名、議決権行使書17名、委任状26名)、非承認1名、棄権0名

赤澤康史 承認67名(出席代議員23名、議決権行使書18名、委任状26名)、非承認0名、棄権0名

■会計監査人：定款第33条第2項により、会計監査人を置くことができるとなっているが、設置していないため候補者なし。

なお事前募集した意見等は下記4名(6件)であり、詳細に関しては協会誌掲載の理事会議事録にて報告することとした。

◆意見・要望(敬称略)

米崎二朗：総会資料P.6にあります2-6.国際関連事業の件で質問とお願いがあります。アジアリハ工学連携会議の経過報告及び今後の方向性を明確に示していただきたいと願います。事業報告での「検討

する」に対し、事業計画では「代表招聘、代表派遣」等、ご担当理事の動向はわかりますが、内容がよくわかりません。RESJA として、国際連携をどの様に考え、どのような方向性を持って活動をしていくのかを具体的にお示しただけでないでしょうか。機関誌あるいはHP 等で結構ですので、ご対応の程よろしくお願ひいたします。

◆回答：アジアの動きも活発で、アメリカ (RESNA)、ヨーロッパ (AAATE) も含め、世界的連携を進めていこうという方向性である。RESJA としても各国との連携を深めていきたい。具体的にどのように進めていくかについては、今後、国際委員会を設置し、役員以外にも、これまで国際会議に出席経験があり国際活動も豊富な、相良副会長、井上監事、井村監事にも委員として加わっていただき是非ご協力いただきたいと考えている。国際関連事業につきましては、適宜報告はいたしますが、議事録にも掲載していますのでご確認ください。

◆意見・要望 (敬称略)

田中芳則：第1号議案 (資料1) 2-1.1) 第29回リハ工学カンファレンス (ひろしま) の開催：8月24日 (日) 特別プログラム (公開講座) として黒田大治郎氏の講演があり、私自身は出席しましたが、参加者が極めて少数 (何百人と入る会場で20名?程度) でした。講演者の黒田氏には申し訳ない気持ちでいっぱいです。講演者に対して失礼にあたると思います。今後、公開講座の集客に向けて広報など改善していただきたい。

◆回答：今後のカンファレンス広報について、実行委員会と密に連絡を取り対応していきたいと考えております。

◆意見・要望 (敬称略)

田中芳則：第3号議案 (資料3) 1-5. 企画推進事業：2014年度と全く変わり映えしないので、新たな企画を検討すべきだと思います。【資料3】の監査報告書でも会費収入が大幅減で、新入会員の確保や継続会員の会費納入に関する改善も必要と助言されているのに、昨年度と同じことしか行わないのですか。例えば、リハ工学カンファレンスで関連する大学 (東洋大学、神戸芸術工科大学、神戸学院大学、広島国際大学などで) で会員獲得のために個別に協会主催で教員・学生向けイベントやセミナーを開催するとか。

◆回答：予算面的にも、支部活動を有効活用し、各地で広報のための企画など精力的に実施していただけるとありがたいです。

◆意見・要望 (敬称略)

田中芳則：第1号議案 (資料1) 4. 事務局3)：メールニュース配信数は書かれていましたが、購読者数が書かれていません。会員である全員に配信されているのでしょうか?購読者数 (正会員、学生会員、賛助会員) も明記すべきです。もし会員全員に配信していなければ、全員に向けて (情報提供とその周知のために) 配信できるよう努力すべきと思います。

◆回答：8月29日現在、購読者数は830件です。入会時の受信希望のほか、協会誌でメールニュース登録のお願いを掲載しておりますが、会員ご本人の選択に任せています。より登録者が増える方策を前向きに検討していきたいと思ひます。

◆意見・要望 (敬称略)

小林博光：国際連携が進むようですが、現状の体制では仕事量、経済的にも負担が大きいと思ひます。といつつ、国際連携は避けて通れない流れでしょうから、コンテストや協会誌の事業を圧縮してはいいかがでしょうか。具体的内容等は会員アンケート等を実施し、理事会でご検討いただければと思ひます。当事者と共に歩むリハ工学協会であってほしいと思ひます。

◆回答：新理事会にて可能な範囲で対応していきたいと思ひます。

◆意見・要望（敬称略）

麩澤孝：リハビリテーション工学カンファレンスでの障害を持った参加者への配慮、情報提供について質問させていただきます。昨年、8月の第29回カンファレンス（広島）では一部の発表会場では車椅子参加者への配慮が足りなく、会場後方や発表を見にくい位置でしか参加出来なかったと聞いております。また、宿泊についても会場近くに車椅子対応可能なホテルが少なく、遠方のホテルから公共交通機関を利用して参加された車椅子使用者も少なくなかったと聞いております。会場を決定する上でいろいろ苦慮されているのは十分承知しております。

今年の第30回カンファレンス（沖縄）を含め、今後のカンファレンスでは、障害を持った参加者がゲストや特別の参加者ではなく、気軽に参加出来るカンファレンスであって欲しいと思います。

リハビリテーション工学協会の決して堅くなく明るい雰囲気、自由な討論など、ぜひこれからも開かれたリハビリテーション工学協会であることを願います。


◆回答：情報保障とアクセスに関しましては、現地実行委員会と密に連絡を取り対応していきたいと思っております。


議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2015（平成27）年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14時45分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2015年8月29日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015（平成27）年度定時社員総会

議長 繁成 剛 

議事録署名人 桂 律也 

議事録署名人 麩澤 孝 